



## 『今が、歴史を創る時』 個々人がつむじ風を起こそう

### 第3回 I will do it. わたしが、やります。

(毎月掲載)

永田 隆一

ビジネスマンともなれば、会議への参加が必須であります。

しかし、効果的な会議の少ないこと少ないこと。

#### ■ 《日本国の国会という会議》

2008年末、日本の国と地方を合わせた政府部門の正味資産残高は、995兆円。負債残高は、984兆円です。2009年末には、日本の政府は、初めて正味資産がマイナスに転じる予想。民間企業が、債務超過になった場合、銀行は資金の貸付を、即座にストップです。そういう状況であります。国会中継では、「君たちにはいわれたくない」「ドラ息子」などの野次が飛び交い、「学級崩壊」ならぬ「国会崩壊」という言葉を思ってしまう。

#### ■ 《リーダーの苦悩》

会議には、その中で、権限を有し決定を下すリーダーが、一人あるいは数人必ずいるものです。

「なんとか、全員の英知を集めて、頑張っていく方向性をだしましょう」「いったい責任者は誰なんだ、誰かが検討して、私に報告してくれなくては、ダメじゃないか」

このようなリーダーは、不要です。責任者は、あなたなのですから。

私の好きなリーダーの言葉、「Aさん、その計画でいくと、どのくらい儲かるの?」「Bさん、断定してはいけません。君は実際にそれを見たのか? 講師、見てきたように嘘をつきという言葉は、君のことだ」「Cさん、君には、知識と熱意と能力が足りない、このプロジェクトから、降りてもらおう。今から」

#### ■ 《会議の種類》

会議も目的により違ってきます。

- ① 情報の共有が目的の会議
- ② アイデアを募る会議
- ③ 善後策を検討する会議
- ④ 方針を通達する会議
- ⑤ 方針を決定する会議
- ⑥ チーム開発が目的

欧米や、日本以外のアジアの国では、オフサイト・ミーティングといって、会社の会議室を離れた場所で、会議を開催することがあります。ゴルフ場、浜辺のリゾート地、山中のコテージなどが代表的です。大きな効果がふたつ期待できます。

ひとつは、開放的になって思わず本音をだす。物事にとらわれない自由な発想が飛び交うことです。「そのアイデアは面白い」となります。

2つ目は、食事を一緒にすることに

なりますから、チームメンバー同士が、お互いに深く理解しあうことが可能となり、打ち解けてまいります。「なんだ、同じ考えだったじゃないか」となります。

また、時間を節約するために、立ったままの「スタンディング・ミーティング」。多少ギスギスする感は否めないですが、手短かに会議を終了できます。テレビ会議や電話会議も効率が良いです。世界中をつないだ電話会議では、3分の1の参加者は、ベッドの上です。何度もいびきが聞こえてくる事がありました。これは、ご愛嬌。

さて、会議の中で、なんと言っても、私が、好きな言葉は、「I will do it. わたしが、やります。」であります。皆、多忙です。誰かがやらなければならないのですが、多忙が追加される訳であります。参加者の誰かが、勇気を持ってこの言葉を発すると、「しびれます」。

そして、リーダーが、「サムさん、よく言った。永田、サムさんの今の仕事を肩代わりしてくれ」などと、仕事の量をマネジメントできるリーダーにも「しびれます」。

(毎月掲載)